

先史時代における石斧の用途について — 一読谷村内遺跡の石斧 —

地域文化研究科南島文化専攻
先史・歴史文化領域
131LM04
田村 薫

2015/3/20

本研究の目的・意義

- ・個別器種(打製・磨製石斧)における型式設定・系統論の展開
- ・形態面(横断面形)から見た類型化と、用途を主眼とした形式設定
- ・地域を限定し、一つの編年モデルを作成

一つの地域での形態的な傾向、そして沖縄県内での傾向を見るための基礎的作業

石斧の
型式設定

⇨

小地域内での
傾向

⇨

沖縄県内での
傾向

2015/3/20

器種単位(石斧)での個別的研究

系統論

時間的系統論(編年論)

山内(1932) 磨製片刃石斧の系統
鈴木(1983) 打製石斧の時期変化

空間的系統論(分布論)

小田(1999) 黒潮圏の石器文化
鈴木(1985) 石斧の生産・供給

機能・用途論

使用痕研究

首都大東京(1997~)
実僚考古学。使用痕データ蓄積

形態論(民族事例との比較)

御堂島(2005) 使用痕研究の体系
佐原(1994) 斧の文化史

分類

時空間的系統論

総合的用途・機能論

2015/3/20

先行研究

戦前

分類研究 形態面での特徴

神田(1886) 日本の石器紹介
鳥居(1894) 琉球列島の遺跡
松村(1920) 欽堂貝塚発掘調査
大山(1922) 伊波貝塚発掘調査
三宅(1935,1940) 琉球列島の石斧集成

戦後

個別系統論 石斧を対象

高宮(1994,1996,1999) 八重山県土器期の石斧
水ノ江(2005) 九州・沖縄の磨製石斧比較
小田(1994,1996,1997) 帯ノ原型丸ノミ石斧

石器群系統論 石斧を含む石器群

知念(1983) 縄文~弥生時代での
木下(1986) 石器群の変遷
新田(2000)

文化論 石器に関する社会構造

八幡(1950) 石器製法による生活様相の考察
国分(1972) 石器製作技術と開野作業
大塚(2010) 石斧石斧獲得・消費行動

2015/3/20

建築史的視点での研究

渡辺晶 (1994, 1998, 1999, 2000)
 建築主要道具(斧・鑿・鋸・鉋)を取り上げ、建築生産上の背景について考察

斧の機能分化

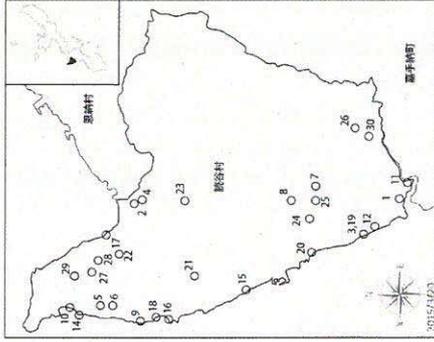
A類斧	伐木・切断用
B類斧	原木荒切削(大斬り用)
C類斧	部材荒切削(斬り用)

縄文時代高床式建築復元実験に使用した石斧

大型縦斧	伐木作業に使用
木製クサビ	丸太材の分割に使用。斧で切れ込みを入れ、クサビを打ち込み、二分割する。
横斧	割り面の斬り、木材加工の荒削り等に使用。
大型石鑿	木材の穴加工等に使用。縦斧、横斧での荒削り後に使用。
小型石鑿	原木の皮むき、穴削面の調整などに使用。穴を深く掘り進めるのには向かず。

2015/7/20

研究対象地域



No.	遺跡名	主/副時期	出土遺物
1	遺跡名	縄文時代前期-中期	石斧片
2	遺跡名	縄文時代前期	石斧片
3	遺跡名	縄文時代前期-後期	石斧片
4	遺跡名	縄文時代前期-後期	石斧片
5	遺跡名	縄文時代前期	石斧片
6	遺跡名	縄文時代前期	石斧片
7	遺跡名	縄文時代前期	石斧片
8	遺跡名	縄文時代前期	石斧片
9	遺跡名	縄文時代前期	石斧片
10	遺跡名	縄文時代前期	石斧片
11	遺跡名	縄文時代前期	石斧片
12	遺跡名	縄文時代前期	石斧片
13	遺跡名	縄文時代前期	石斧片
14	遺跡名	縄文時代前期	石斧片
15	遺跡名	縄文時代前期	石斧片
16	遺跡名	縄文時代前期	石斧片
17	遺跡名	縄文時代前期	石斧片
18	遺跡名	縄文時代前期	石斧片
19	遺跡名	縄文時代前期	石斧片
20	遺跡名	縄文時代前期	石斧片
21	遺跡名	縄文時代前期	石斧片
22	遺跡名	縄文時代前期	石斧片
23	遺跡名	縄文時代前期	石斧片
24	遺跡名	縄文時代前期	石斧片
25	遺跡名	縄文時代前期	石斧片
26	遺跡名	縄文時代前期	石斧片
27	遺跡名	縄文時代前期	石斧片
28	遺跡名	縄文時代前期	石斧片
29	遺跡名	縄文時代前期	石斧片
30	遺跡名	縄文時代前期	石斧片
31	遺跡名	縄文時代前期	石斧片
32	遺跡名	縄文時代前期	石斧片
33	遺跡名	縄文時代前期	石斧片
34	遺跡名	縄文時代前期	石斧片
35	遺跡名	縄文時代前期	石斧片
36	遺跡名	縄文時代前期	石斧片
37	遺跡名	縄文時代前期	石斧片
38	遺跡名	縄文時代前期	石斧片
39	遺跡名	縄文時代前期	石斧片
40	遺跡名	縄文時代前期	石斧片
41	遺跡名	縄文時代前期	石斧片
42	遺跡名	縄文時代前期	石斧片
43	遺跡名	縄文時代前期	石斧片
44	遺跡名	縄文時代前期	石斧片
45	遺跡名	縄文時代前期	石斧片
46	遺跡名	縄文時代前期	石斧片
47	遺跡名	縄文時代前期	石斧片
48	遺跡名	縄文時代前期	石斧片
49	遺跡名	縄文時代前期	石斧片
50	遺跡名	縄文時代前期	石斧片
51	遺跡名	縄文時代前期	石斧片
52	遺跡名	縄文時代前期	石斧片
53	遺跡名	縄文時代前期	石斧片
54	遺跡名	縄文時代前期	石斧片
55	遺跡名	縄文時代前期	石斧片
56	遺跡名	縄文時代前期	石斧片
57	遺跡名	縄文時代前期	石斧片
58	遺跡名	縄文時代前期	石斧片
59	遺跡名	縄文時代前期	石斧片
60	遺跡名	縄文時代前期	石斧片
61	遺跡名	縄文時代前期	石斧片
62	遺跡名	縄文時代前期	石斧片
63	遺跡名	縄文時代前期	石斧片
64	遺跡名	縄文時代前期	石斧片
65	遺跡名	縄文時代前期	石斧片
66	遺跡名	縄文時代前期	石斧片
67	遺跡名	縄文時代前期	石斧片
68	遺跡名	縄文時代前期	石斧片
69	遺跡名	縄文時代前期	石斧片
70	遺跡名	縄文時代前期	石斧片
71	遺跡名	縄文時代前期	石斧片
72	遺跡名	縄文時代前期	石斧片
73	遺跡名	縄文時代前期	石斧片
74	遺跡名	縄文時代前期	石斧片
75	遺跡名	縄文時代前期	石斧片
76	遺跡名	縄文時代前期	石斧片
77	遺跡名	縄文時代前期	石斧片
78	遺跡名	縄文時代前期	石斧片
79	遺跡名	縄文時代前期	石斧片
80	遺跡名	縄文時代前期	石斧片
81	遺跡名	縄文時代前期	石斧片
82	遺跡名	縄文時代前期	石斧片
83	遺跡名	縄文時代前期	石斧片
84	遺跡名	縄文時代前期	石斧片
85	遺跡名	縄文時代前期	石斧片
86	遺跡名	縄文時代前期	石斧片
87	遺跡名	縄文時代前期	石斧片
88	遺跡名	縄文時代前期	石斧片
89	遺跡名	縄文時代前期	石斧片
90	遺跡名	縄文時代前期	石斧片
91	遺跡名	縄文時代前期	石斧片
92	遺跡名	縄文時代前期	石斧片
93	遺跡名	縄文時代前期	石斧片
94	遺跡名	縄文時代前期	石斧片
95	遺跡名	縄文時代前期	石斧片
96	遺跡名	縄文時代前期	石斧片
97	遺跡名	縄文時代前期	石斧片
98	遺跡名	縄文時代前期	石斧片
99	遺跡名	縄文時代前期	石斧片
100	遺跡名	縄文時代前期	石斧片

● 報告番号が併記されている遺跡

資料分析

形態学的分類

横断面形態: 刃の大きさや厚みといった木工具としての性格が端的に表れる
 平面形態: 石斧のサイズから加工対象の大きさ、加工の度合いを判断

観察方法

- 肉眼観察に基づく資料の特徴の記述
- 実測図を作成し平面形態、横断面形態での特徴を捉える
- 長さ、幅、厚みの最大値を計測し、それぞれの比率を基に類型化

1類	a	横断面			平均厚 (mm)	平均重 (g)	厚さと幅の比 (平均)
		サイズ	平均長 (mm)	平均幅 (mm)			
1類	a	楕円形	120.73	58.20	25.06	280.7	1.9~3倍
	b	円形	129.15	49.02	31.23	299.2	1.4~1.8倍
2類	a	楕円形	73.08	47.25	19.63	123.8	2.2~2.6倍
	b	扁平	130.09	68.58	16.07	257.2	3~6倍
3類	a	扁平	93.27	47.36	11.88	96.3	3~6倍
	b	不定形					
4類		不明					

2015/7/20

横断面形態に基づく類型化

1類: 厚みのあるもの
 伐採用としての機能

2類: 扁平なもの
 加工用としての機能

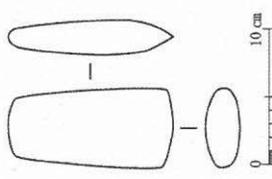
3類: 石斧としての機能を持たないもの
 刃が潰れている。敲打器としての機能

4類: 不明・未製品
 小破片や未製品と考えられるもの

2015/7/20

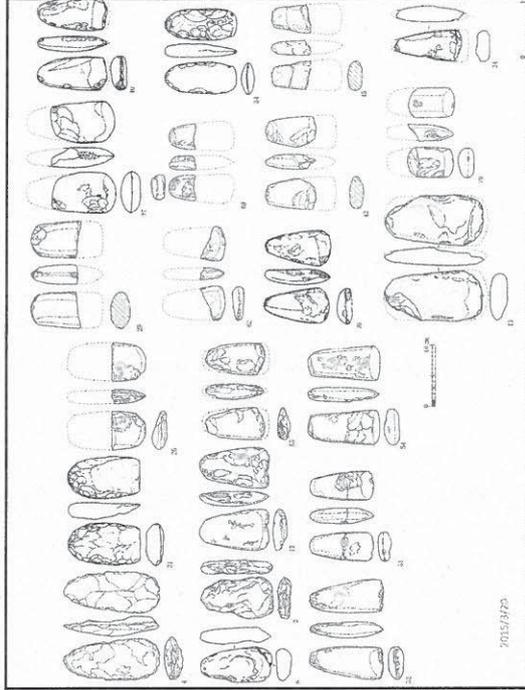
1類

1類a-①:断面精円形(大型)



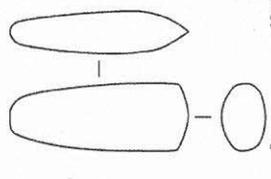
平均長:約120mm
 平均幅:約60mm
 平均厚:約25mm
 平均重:約280g
 幅が厚さの約1.9倍~3倍

2015/3/20



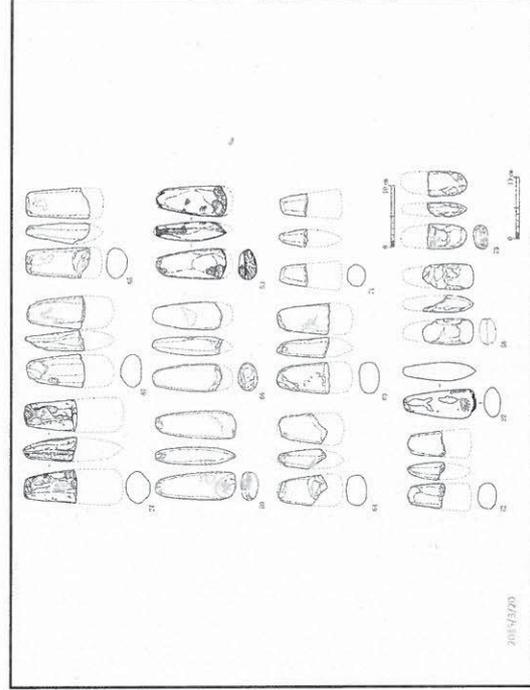
1類

1類a-②:断面円形(大型)



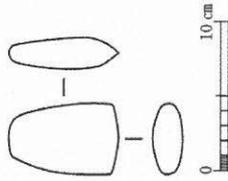
平均長:約130mm
 平均幅:約50mm
 平均厚:約30mm
 平均重:約300g
 幅が厚さの約1.4倍~1.8倍

2015/3/20



1類

1類b: 断面楕円(小型)



平均長: 約73mm
 平均幅: 約47mm
 平均厚: 約20mm
 平均重: 約124g
 幅が厚さの約2.2倍~2.6倍

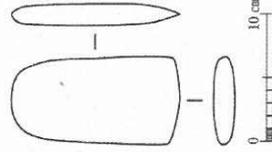
2015/3/20



2015/3/20

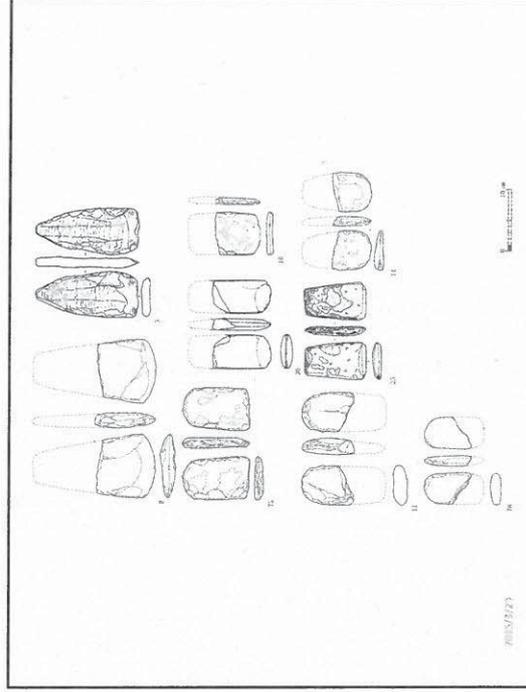
2類

2類a: 断面扁平(大型)



平均長: 約130mm
 平均幅: 約70mm
 平均厚: 約16mm
 平均重: 約260g
 幅が厚さの約3倍~6倍

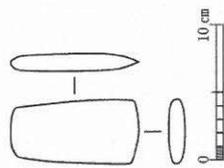
2015/3/20



2015/3/20

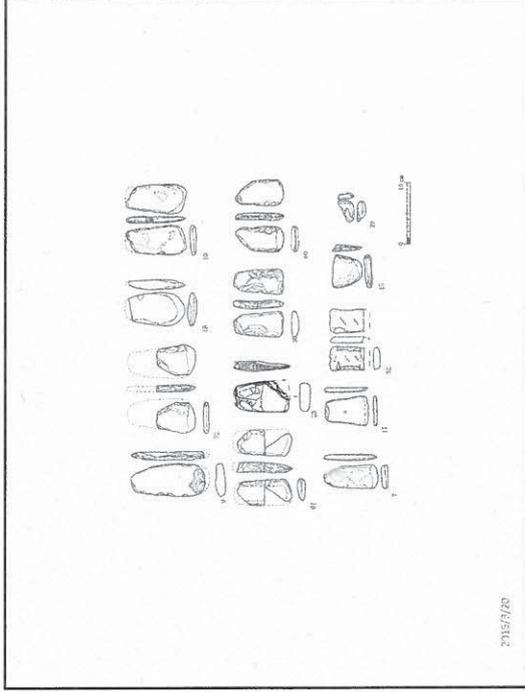
2類

2類b: 断面扁平(小型)

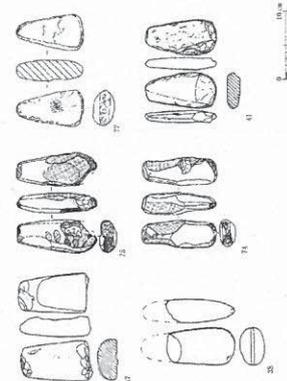


平均長: 約93mm
 平均幅: 約47mm
 平均厚: 約11mm
 平均重: 約96g
 幅が厚さの約3倍~6倍

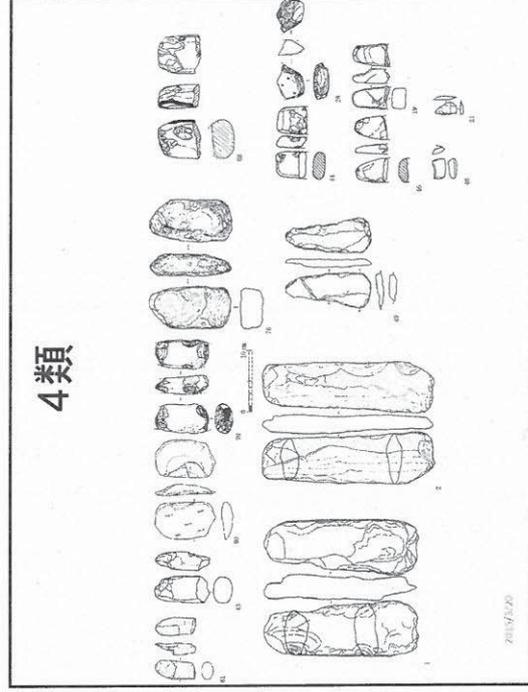
2015/3/20



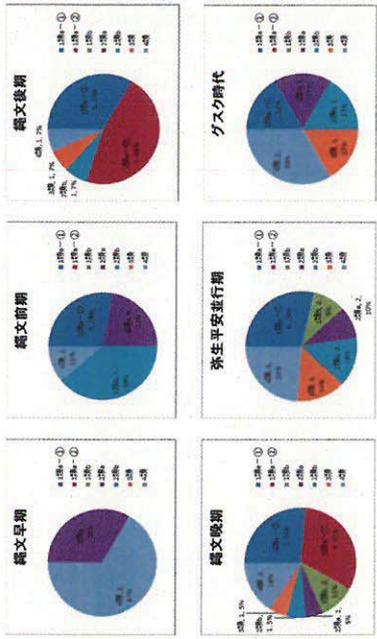
3類



2015/3/20



時期毎の出土石斧



2015/3/20

まとめ・課題

横断面形による分類

- ・現状では厚みのあるタイプ・扁平なタイプのみ
- ・刃面の長さ、角度、石材など、より細かい分析を

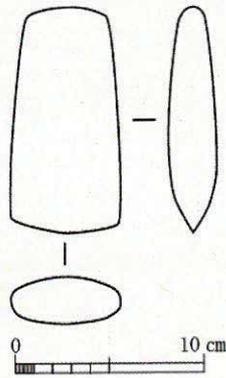
→ 各類型のより詳細な特徴を捉えることができる

対象となる資料

- ・該谷村内遺跡の出土遺物だけでは資料数として不十分
 - ・他地域での出土遺物についても観察すること
- 地域毎・年代毎の詳細な変化を追うことができる

2015/3/20

1類 a-①：断面楕円形(大型)



最大長：約 120 mm前後
幅が厚さの約 1.9 倍～3 倍

横断面形が楕円になるもので、読谷村内の石斧では 21 点みられた。木綿原遺跡の 1 点のみ打製石斧(No.31)で、残り 20 点はすべて磨製石斧である。刃部は木綿原遺跡の打製石斧 1 例以外すべて両刃で、横断面から見た時に刃が身の中央に位置する、蛤刃である。研磨はかなり徹底されており、側縁に稜が形成されているものが多い。1 類としたものはいずれも肉厚で、伐木といった大きな衝撃にも耐えるものと考えられる。

図 1 1類 a-①,

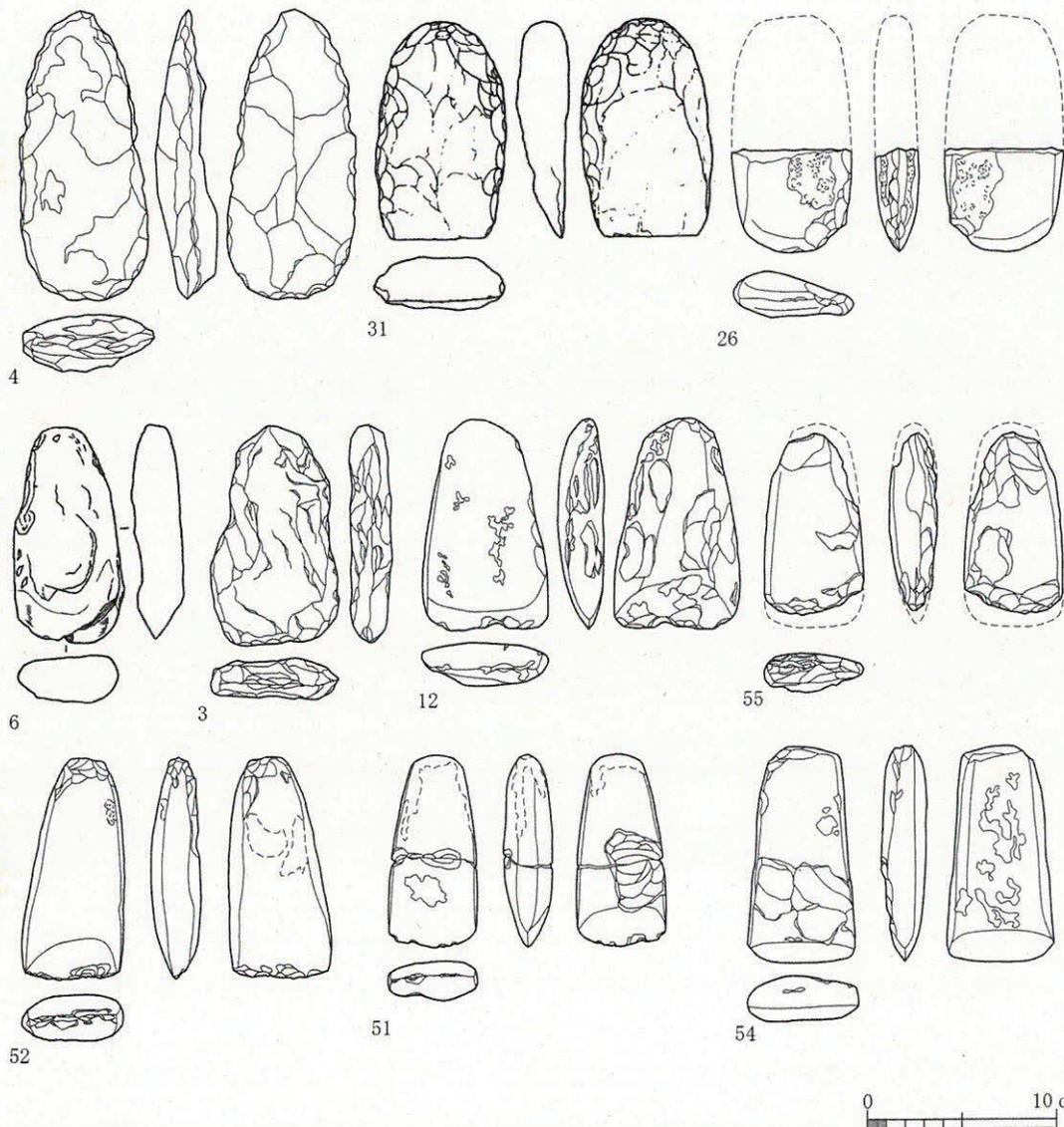


図 2 1類 a-①,類例(1)

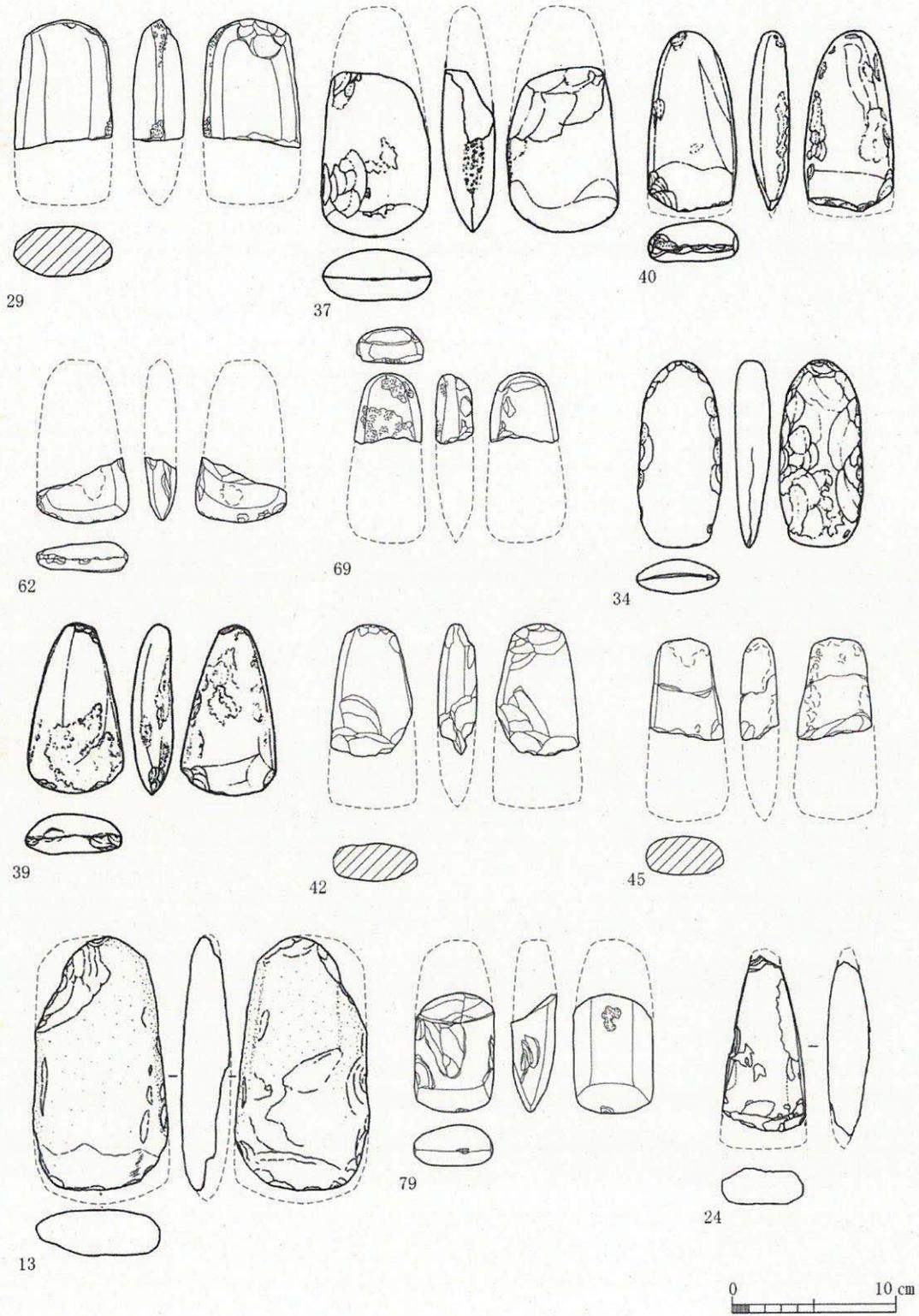


图3 1類 a-①,類例(2)